資料1－2(2)

佐賀市 こどもまんなか NEWS ニュース 第4号 特別版 こども版パブリックコメント

内容を紹介するよ！

佐賀市こども計画

佐賀市は「こどもの幸せを何よりも優先するまち」を目指しています。
でも、こどもにとっての幸せって大人だけで決めること？
そこでこの計画は、こどもたちの意見をききながらつくってきました。
その内容を見てみましょう！

基本理念

この計画で「こうなったらいいね」と決めた、一番大きな目標だよ。



こども・若者の夢や希望がふくらみ、自分色の未来が輝くまち“さが”

全てのこどもが安心して夢や希望を描き、
自分らしく可能性を広げることができる社会を目指します。

キャッチフレーズみたいなものだね



こどもたちの意見をきいたよ。

みんなの意見の中から、
- 夢や希望
- 自分らしさ
- やりたいことがかなう

などの「こどもの幸せ」キーワードを入れました！







基本的な視点

計画で決めたことを進める時に、大切にしていく見方や考え方を「基本的な視点」というよ。
この計画では、５つの基本的な視点を決めているんだよ！



1 こどもを権利の主体として尊重します

こどもには、生まれた時から、元気に育ち、幸せに生きる権利があります。
全てのこどもの権利を、市民みんなで大切にします。



2 多様性を尊重した共生社会を目指します

一人ひとりの個性や考え方が違うということを認め合います。
お互いを思いやり、みんなが自分らしく幸せに暮らしていけるまちをつくります。



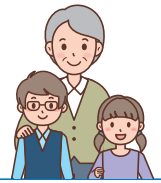
3 こどもの主体性を育みます

こどもたちが、自ら学び、自分で考え、行動できるようにします。
誰もが自分で未来を切り開いていけるよう、まち全体で応援します。



4 社会全体でこどもを育むまちづくりを進めます

地域が一つになって、こどもたちの笑顔と安全を見守ります。
こどもだけでなく、子育てする大人も一緒に成長できるまちにしていきます。



5 こどもにとってもっともよいことを考えます

こどもが意見を言いやすく、社会や学校でルールを決める話し合いにも参加できるようにしていきます。
大人は、こどもの気持ちも考えて、こどもにとってもっともよいことは何かを第一に考えます。



この計画について、みんなの意見をきかせてね！

このような計画をつくるときに意見をきくことをパブリックコメントと言います。今回は、こども向けのパブリックコメントを募集します。
（こども版パブリックコメント）

こども版パブリックコメント　意見はこちらから

この【特別版】で紹介している「佐賀市こども計画」の内容を見て、「もっとこうしてほしいな」「こうなるといいな」など、感じたことや意見をなんでもきかせてください。

ここから意見をきかせてね　https://docs.google.com/forms/d/1Vn0nLfe1poAAozWjh1uWORPho2ulUX0xQyZ7BPjYWQI/edit

計画で進めていくこと

「こども・若者の夢や希望がふくらみ、自分色の未来が輝くまち“さが”」を実現させるために、この計画で進めていくことです。
佐賀市が「こどもまんなか社会」になることを目指します。

「こどもまんなか社会」は、こどもたちの幸せを一番に考える社会のことだよ。大人は、こどもや若者の意見を大切にして「こどもにとって何が最もよいか」を考えながら、みんながずっと笑顔でいられる社会にしていくよ。

年齢にかかわらず、ずっと応援していくよ!

いろいろな遊びや体験ができるよ

遊びや体験、食事、運動などを通して、心も体も豊かに育つようにします。

健やかな成長を応援するよ

生まれる前から大人になるまで、ずっと元気でいられるように応援します。

助けが必要なこどもを支えるよ

病気や障がい、いろいろな事情などで助けが必要なこどもを支えます。

まち全体でこどもを守るよ

安心して遊べる公園や、安全な通学路、悩みごとを話せる場所などを増やします。

子育てしている人を応援するよ

働きやすく、安心して子育てができるように、相談やお金のサポートをします。

それぞれの成長に合わせて、こどもや若者を応援するよ!

こどもまんなか

こどもはみんな、生まれたときから「権利の主体」。だから佐賀市は、いつもこどもの気持ちや幸せをまんなかに置いて計画を進めます。

おなかの中で生まれてくるのを楽しみにしているのかな?



- おなかの中にいる時から、赤ちゃんとお母さんの健康を守ります。
- 家庭を訪問して、楽しみと同時に不安がいっぱいのお母さんたちを支えます。

すくすく元気にみんなに守られながら育っているよ



- みんなが保育所（園）や幼稚園に通えるようにします。
- 大人に急な用事ができたり、こどもが病気になっても、こどもを預けられます。
- 親子が気軽に集まって遊んだりお話しできるところを過ごしやすく、良くしていきます。
- 予防接種や、こころやからだの検査をして、みんなの健康を守ります。

高校や大学、社会に出てからも、自分らしく毎日を楽しんでいるよ



- 悩みや不安をかかえる若い人たちや家族を支えます。
- 自分らしく仕事ができて休みがとれて、家族との時間や自分の時間を大切にできるように応援します。
- 仕事や結婚、子育てへの心配や負担を減らせるように応援します。

居心地のいい、自分の居場所で過ごせているよ



- 児童センターや公園など「こどもの遊び場」を使いやすくします。
- 家や学校以外で安心して過ごせる「こどもの居場所」を増やします。
- 放課後、保護者がお迎えに来るまで安全に過ごせる「放課後児童クラブ」を、小学6年生まで使えるようにしていきます。

学校では、自分で考えて行動することを学ぶよ



- 「自律」「尊重」「創造」を大切に、こどもが自分で考え行動する力を伸ばします。
- 楽しく生活できるよう、いじめや不登校へのサポートを進めます。
- いろいろな個性を持つこどもたちが、同じ場所で学び、社会で活躍できるようにします。

佐賀市の学校が取組を進めているキーワードだよ。意味を調べてみよう。



子どもへのまなざし運動

佐賀市では、こどもの健やかな育ちを支えることが大人の大事な役割だと考えています。
市民みんながこどもたちを見守り、成長を応援する「子どもへのまなざし運動」を続けています。



2008年から続いているんだって